

英語 I

SH11-3⑥-KE1-019

生活科学部 > 食物学科

1年生

1単位 前期

演習

必修

研究室：125 (桐生)

桐生 和幸

〔ディプロマ・ポリシーの要素との関連〕

専門的職業人として円滑な人間関係を構築するためのコミュニケーション力を身につけること。

〔授業の目標〕

本授業では、高校までに学んできた英語力を基盤に、大学生活を舞台としたストーリーを通じて「聞く・話す・読む・書く」の4技能を総合的に高めることを目指す。前期はUnit 1からUnit 7を扱い、基礎文法を復習しながら、日常的な場面での英語理解力・発信力を育成する。

また、英語と日本語の文構造・文書構造の違いを意識することで、言葉を客観的に見るメタ言語能力を育成する。

〔授業の内容及び方法〕

①教科書の内容について指定された形式での事前学習（オンライン）、②授業内での内容確認とグループワーク、タスク演習等、③授業後レポート、④確認小テスト（語彙・文法）から構成される。

1つのUnitを「前半（1～3ページ）」と「後半（4～6ページ）」の2回に分けて学習する。

前半：語彙の確認（Warm-up）、リスニング（Let's Listen!）、および文法事項の基礎学習（Grammar）を中心に行う。

後半：文法の応用、読解（Let's Read!）、およびライティング（Let's Write!）による作文学習を行う。

スマートフォンを用いたICT活用による双方向演習（WebClassや自家製AIアプリ）やペアワークを取り入れる。

〔授業計画〕

第1回 オリエンテーション：学習の進め方とLINGUAPORTAの利用について

第2回 Unit 1 (前半) 自己紹介：be動詞・疑問詞、語彙、リスニング

第3回 Unit 1 (後半) 自己紹介：文法、読解、作文学習

第4回 Unit 2 (前半) 友人の紹介(1)：一般動詞(現在形)、語彙、リスニング

第5回 Unit 2 (後半) 友人の紹介(1)：文法、読解、作文学習

第6回 Unit 3 (前半) 友人の紹介(2)：進行形、語彙、リスニング

第7回 Unit 3 (後半) 友人の紹介(2)：文法、読解、作文学習

第8回 Unit 4 (前半) ショッピング：助動詞、語彙、リスニング

第9回 Unit 4 (後半) ショッピング：文法、読解、作文学習

第10回 Unit 5 (前半) 週末の過ごし方：一般動詞(過去形)、語彙、リスニング

第11回 Unit 5 (後半) 週末の過ごし方：文法、読解、作文学習

第12回 Unit 6 (前半) 家族の紹介：未来表現1・代名詞、語彙、リスニング

第13回 Unit 6 (後半) 家族の紹介：文法、読解、作文学習

第14回 Unit 7 (前半) テスト：未来表現2、語彙、リスニング
第15回 Unit 7 (後半) テスト：文法、読解、作文学習 & まとめ

〔課題及び授業時間外の学習内容〕

第2回から第15回目：

- ・WebClassで指定された事前学習内容
- ・LINGUAPORTAを使った学習
- ・Quizlet（単語学習アプリ）を活用した単語学習
- ・MicroStepスタディを利用した単語力向上

〔授業の到達目標〕

CEFR の A2 レベル（An ability to deal with simple, straightforward information and begin to express oneself in familiar contexts.）：【聞く】ハッキリかつゆっくりとした発音であれば、具体的な必要性を満たせる程度に理解できる。【読む】よく使われる日常的・仕事関連の言葉で書かれた具体的で身近な事柄であれば、短く簡潔な文章を理解することができる。【書く】「and」や「but」「because」などの簡単な接続詞でつなげた、簡単な表現や文章を書くことができる。【話す】自ら会話を進めることはできないが、身近な日々の事柄について、直接的で簡単なコミュニケーションを取ることができる。【メタ言語能力】英語と日本語の文構造・文書構造の違いを分かりやすく説明できる。

〔履修上の注意・要望等〕

本科目は、教育DX推進の指定科目であり、ICT（Information and Communication Technology：情報通信技術）を積極的に活用します。

担当教員より指定された電子デバイス（パソコン・タブレット・スマートフォン）を使用する場合があります。

事前学習において、WebClassとLINGUAPORTA、およびQuizletを使用します。出された課題は、締め切り前までに完了すること。また、授業内でスマートフォンを用いた双方向演習を行うので、必要に応じて学内無線LANの登録を済ませておいてください。

毎回辞書（英和・和英）を持参すること。紙媒体でも電子媒体でも構わない。スマホを使う場合は、ロングマン英語辞典のウェブサイトを利用すること（ただし、試験のときにはスマホを使うことはできません）。

〔授業外の学修（予習・復習等）について〕

第2回以降毎回、WebClassおよびLINGUAPORTA、MicroStep Studyを用いた事前学習および事後学習（合計約2時間）を行ってください。本演習科目の履修には、概ね30時間程度の自主学修が必要です。

〔アクティブ・ラーニングに関する事項〕

ICTを活用した双方向型授業、グループワーク、ICTを活用した自主学習支援（e-Learning）、反転授業

〔オープンな教育リソース（例：edx、Coursera、JMOOC等）〕

〔評価方法〕

事前学習課題（20%）、事後提出課題（10%）、MicroStep Studyによる単語学習（10%）、確認小テスト（20%）、定期試験（40%）

〔評価のフィードバック方法〕

課題・小テストは翌回の授業で、定期試験についてはWebClassにおいて行う。

〔教科書〕

角山照彦、Timothy F. Hawthorne 『College English Reboot: Basic Skills for Communication』成美堂、2026年

〔参考文献〕

〔キーワード〕

英語コミュニケーション、基礎英文法、4技能総合、e-Learning、大学生活

〔免許・資格に関する情報〕

英語 I

J111-3⑤-KE1-020

生活科学部 > 児童学科
1年生
1単位 前期
演習
必修
研究室：125 (桐生)

桐生 和幸

〔ディプロマ・ポリシーの要素との関連〕

社会人としての一般教養や、課題解決能力が身についている。

〔授業の目標〕

本授業では、高校までに学んできた英語力を基盤に、大学生活を舞台としたストーリーを通じて「聞く・話す・読む・書く」の4技能を総合的に高めることを目指す。前期はUnit 1からUnit 7を扱い、基礎文法を復習しながら、日常的な場面での英語理解力・発信力を育成する。

また、英語と日本語の文構造・文書構造の違いを意識することで、言葉を客観的に見るメタ言語能力を育成する。

〔授業の内容及び方法〕

①教科書の内容について指定された形式での事前学習（オンライン）、②授業内での内容確認とグループワーク、タスク演習等、③授業後レポート、④確認小テスト（語彙・文法）から構成される。

1つのUnitを「前半（1～3ページ）」と「後半（4～6ページ）」の2回に分けて学習する。

前半：語彙の確認（Warm-up）、リスニング（Let's Listen!）、および文法事項の基礎学習（Grammar）を中心に行う。

後半：文法の応用、読解（Let's Read!）、およびライティング（Let's Write!）による作文学習を行う。

スマートフォンを用いたICT活用による双方向演習（WebClassや自家製AIアプリ）やペアワークを取り入れる。

〔授業計画〕

第1回 オリエンテーション：学習の進め方とLINGUAPORTAの利用について

第2回 Unit 1 (前半) 自己紹介：be動詞・疑問詞、語彙、リスニング

第3回 Unit 1 (後半) 自己紹介：文法、読解、作文学習

第4回 Unit 2 (前半) 友人の紹介(1)：一般動詞(現在形)、語彙、リスニング

第5回 Unit 2 (後半) 友人の紹介(1)：文法、読解、作文学習

第6回 Unit 3 (前半) 友人の紹介(2)：進行形、語彙、リスニング

第7回 Unit 3 (後半) 友人の紹介(2)：文法、読解、作文学習

第8回 Unit 4 (前半) ショッピング：助動詞、語彙、リスニング

第9回 Unit 4 (後半) ショッピング：文法、読解、作文学習

第10回 Unit 5 (前半) 週末の過ごし方：一般動詞(過去形)、語彙、リスニング

第11回 Unit 5 (後半) 週末の過ごし方：文法、読解、作文学習

第12回 Unit 6 (前半) 家族の紹介：未来表現1・代名詞、語彙、リスニング

第13回 Unit 6 (後半) 家族の紹介：文法、読解、作文学習

第14回 Unit 7 (前半) テスト：未来表現2、語彙、リスニング
第15回 Unit 7 (後半) テスト：文法、読解、作文学習 & まとめ

〔課題及び授業時間外の学習内容〕

第2回から第15回目：

- ・WebClassで指定された事前学習内容
- ・LINGUAPORTAを使った学習
- ・Quizlet（単語学習アプリ）を活用した単語学習
- ・MicroStepスタディを利用した単語力向上

〔授業の到達目標〕

CEFRのA2レベル（An ability to deal with simple, straightforward information and begin to express oneself in familiar contexts.）：【聞く】ハッキリかつゆっくりとした発音であれば、具体的な必要性を満たせる程度に理解できる。【読む】よく使われる日常的・仕事関連の言葉で書かれた具体的で身近な事柄であれば、短く簡潔な文章を理解することができる。【書く】「and」や「but」「because」などの簡単な接続詞でつなげた、簡単な表現や文章を書くことができる。【話す】自ら会話を進めることはできないが、身近な日々の事柄について、直接的で簡単なコミュニケーションを取ることができる。【メタ言語能力】英語と日本語の文構造・文書構造の違いを分かりやすく説明できる。

〔履修上の注意・要望等〕

本科目は、教育DX推進の指定科目であり、ICT（Information and Communication Technology：情報通信技術）を積極的に活用します。

担当教員より指定された電子デバイス（パソコン・タブレット・スマートフォン）を使用する場合があります。

事前学習において、WebClassとLINGUAPORTA、およびQuizletを使用します。出された課題は、締め切り前までに完了すること。また、授業内でスマートフォンを用いた双方向演習を行うので、必要に応じて学内無線LANの登録を済ませておいてください。

毎回辞書（英和・和英）を持参すること。紙媒体でも電子媒体でも構わない。スマホを使う場合は、ロングマン英語辞典のウェブサイトを利用すること（ただし、試験のときにはスマホを使うことはできません）。

〔授業外の学修（予習・復習等）について〕

第2回以降毎回、WebClassおよびLINGUAPORTA、MicroStep Studyを用いた事前学習および事後学習（合計約2時間）を行ってください。本演習科目の履修には、概ね30時間程度の自主学修が必要です。

〔アクティブ・ラーニングに関する事項〕

ICTを活用した双方向型授業、グループワーク、ICTを活用した自主学習支援（e-Learning）、反転授業

〔オープンな教育リソース（例：edx、Coursera、JMOOC等）〕

〔評価方法〕

事前学習課題（20%）、事後提出課題（10%）、MicroStep Studyによる単語学習（10%）、確認小テスト（20%）、定期試験（40%）

〔評価のフィードバック方法〕

課題・小テストは翌回の授業で、定期試験についてはWebClassにおいて行う。

〔教科書〕

角山照彦、Timothy F. Hawthorne 『College English Reboot: Basic Skills for Communication』成美堂、2026年

〔参考文献〕

〔キーワード〕

英文法、英文読解、英語表現、英語コミュニケーション

〔免許・資格に関する情報〕

△選択必修_保育士

英語 I

FU11-1①-KE1-019

生活科学部 > 社会福祉学科
1年生
1単位 前期
演習
必修
研究室：125 (桐生)

桐生 和幸

〔ディプロマ・ポリシーの要素との関連〕

人格の形成と豊かな教養を身につけ、柔軟な思考力そして何よりも豊かな人間性の涵養を図る。

〔授業の目標〕

本授業では、高校までに学んできた英語力を基盤に、大学生活を舞台としたストーリーを通じて「聞く・話す・読む・書く」の4技能を総合的に高めることを目指す。前期はUnit 1からUnit 7を扱い、基礎文法を復習しながら、日常的な場面での英語理解力・発信力を育成する。

また、英語と日本語の文構造・文書構造の違いを意識することで、言葉を客観的に見るメタ言語能力を育成する。

〔授業の内容及び方法〕

①教科書の内容について指定された形式での事前学習（オンライン）、②授業内での内容確認とグループワーク、タスク演習等、③授業後レポート、④確認小テスト（語彙・文法）から構成される。

1つのUnitを「前半（1～3ページ）」と「後半（4～6ページ）」の2回に分けて学習する。

前半：語彙の確認（Warm-up）、リスニング（Let's Listen!）、および文法事項の基礎学習（Grammar）を中心に行う。

後半：文法の応用、読解（Let's Read!）、およびライティング（Let's Write!）による作文学習を行う。

スマートフォンを用いたICT活用による双方向演習（WebClassや自家製AIアプリ）やペアワークを取り入れる。

〔授業計画〕

第1回 オリエンテーション：学習の進め方とLINGUAPORTAの利用について

第2回 Unit 1 (前半) 自己紹介：be動詞・疑問詞、語彙、リスニング

第3回 Unit 1 (後半) 自己紹介：文法、読解、作文学習

第4回 Unit 2 (前半) 友人の紹介(1)：一般動詞(現在形)、語彙、リスニング

第5回 Unit 2 (後半) 友人の紹介(1)：文法、読解、作文学習

第6回 Unit 3 (前半) 友人の紹介(2)：進行形、語彙、リスニング

第7回 Unit 3 (後半) 友人の紹介(2)：文法、読解、作文学習

第8回 Unit 4 (前半) ショッピング：助動詞、語彙、リスニング

第9回 Unit 4 (後半) ショッピング：文法、読解、作文学習

第10回 Unit 5 (前半) 週末の過ごし方：一般動詞(過去形)、語彙、リスニング

第11回 Unit 5 (後半) 週末の過ごし方：文法、読解、作文学習

第12回 Unit 6 (前半) 家族の紹介：未来表現1・代名詞、語彙、リスニング

第13回 Unit 6 (後半) 家族の紹介：文法、読解、作文学習

第14回 Unit 7 (前半) テスト：未来表現2、語彙、リスニング
第15回 Unit 7 (後半) テスト：文法、読解、作文学習 & まとめ

〔課題及び授業時間外の学習内容〕

第2回から第15回目：

- ・WebClassで指定された事前学習内容
- ・LINGUAPORTAを使った学習
- ・Quizlet（単語学習アプリ）を活用した単語学習
- ・MicroStepスタディを利用した単語力向上

〔授業の到達目標〕

CEFR の A2 レベル（An ability to deal with simple, straightforward information and begin to express oneself in familiar contexts.）：【聞く】ハッキリかつゆっくりとした発音であれば、具体的な必要性を満たせる程度に理解できる。【読む】よく使われる日常的・仕事関連の言葉で書かれた具体的で身近な事柄であれば、短く簡潔な文章を理解することができる。【書く】「and」や「but」「because」などの簡単な接続詞でつなげた、簡単な表現や文章を書くことができる。【話す】自ら会話を進めることはできないが、身近な日々の事柄について、直接的で簡単なコミュニケーションを取ることができる。【メタ言語能力】英語と日本語の文構造・文書構造の違いを分かりやすく説明できる。

〔履修上の注意・要望等〕

本科目は、教育DX推進の指定科目であり、ICT（Information and Communication Technology：情報通信技術）を積極的に活用します。

担当教員より指定された電子デバイス（パソコン・タブレット・スマートフォン）を使用する場合があります。

事前学習において、WebClassとLINGUAPORTA、およびQuizletを使用します。出された課題は、締め切り前までに完了すること。また、授業内でスマートフォンを用いた双方向演習を行うので、必要に応じて学内無線LANの登録を済ませておいてください。

毎回辞書（英和・和英）を持参すること。紙媒体でも電子媒体でも構わない。スマホを使う場合は、ロングマン英語辞典のウェブサイトを利用すること（ただし、試験のときにはスマホを使うことはできません）。

〔授業外の学修（予習・復習等）について〕

第2回以降毎回、WebClassおよびLINGUAPORTA、MicroStep Studyを用いた事前学習および事後学習（合計約2時間）を行ってください。本演習科目の履修には、概ね30時間程度の自主学修が必要です。

〔アクティブ・ラーニングに関する事項〕

ICTを活用した双方向型授業、グループワーク、ICTを活用した自主学習支援（e-Learning）

〔オープンな教育リソース（例：edx、Coursera、JMOOC等）〕

〔評価方法〕

事前学習課題（20%）、事後提出課題（10%）、MicroStep Studyによる単語学習（10%）、確認小テスト（20%）、定期試験（40%）

〔評価のフィードバック方法〕

課題・小テストは翌回の授業で、定期試験についてはWebClassにおいて行う。

〔教科書〕

角山照彦、Timothy F. Hawthorne 『College English Reboot:
Basic Skills for Communication』成美堂、2026年

〔参考文献〕

〔キーワード〕

英文法、英文読解、英語表現

〔免許・資格に関する情報〕